

パネルディスカッションでの主な提言

- ・壁面緑化、屋上緑化など、次の時代を見据えて町で一体となって緑を増やすことを考えていくべき。
- ・リニモの駅を中心にコンパクトなまちづくりを進めるとともに、地域交通のあり方を行政だけではなく、住民も考えていくべき。
- ・地域の行政と医療機関等が災害時に連絡を取れるような密な関係を確保すべき。
- ・学生たちの若い力を今後のまちづくりに活用していくべき。
- ・子育てをする親のニーズを迅速にすくいあげて、住民の力も活用しながら的確なサービスを打ち出していくことが重要。
- ・行政と地域住民が連携して長久手町地内の学校に子どもたちを安心して通学させることができるような、公教育のさらなる充実が必要。
- ・万博の理念を風化させることなく継承させていく大きなイベントをモリコロパークで開催していくことが、リニモを活かしたまちづくりのために必要。またそのようなイベントに住民の力を活かせるよう、行政のサポート体制や助成制度を充実させていくことが必要。
- ・新しく長久手に住む人が、地域のコミュニティに参加できる仕組み作りが必要。
- ・行政にまかせっきりではなく、住民一人一人が長久手のまちづくりについて考えていくことが重要。